旭岳

加藤（単独）

2013 年 7 月 17 日（水）　晴時々曇

旭川ホテル（タクシー）9:25　旭岳ロープウェイ 10:30　姿見駅 10:50　姿見池 11:15

八合目 11:15～25　旭岳 13:00～45　姿見池 15:00　旭岳ロープウェイ姿見駅 15:45

旭岳ロープウェイ駅（バス）17:15　旭川ホテル 18:45

旭川駅前より路線バスで旭川ロープウェイまで行こうとしたが、バス待ちのおばさん 3 人パーティと一緒に行くことになった。一人 1500 円なり（私は運転手にチップ 500 円あげる）。ロープウェイで姿見駅まで行き、これより登山開始する。

姿見池へは右手方向を登る。姿見池からは旭岳の頂上はガスで望むことはできない。旭岳下部の噴気孔からの蒸気の吹き出しが轟音とともに大量に上がっている。これからの登山道は火山特有の滑り易く細かい砂利と大石が混在した道だ。それでも平日のせいか登山者が少なく快調に登りことができた。2 時間強で頂上に到着した。

あいにくとガスで覆われており視界はない。しかしまずは近くに居る人にお願いし記念撮影する。しばらくガスの晴れるのを待つことにする。周りを回遊していると携帯電話を拾う（これは後で、ロープウェイ駅の係員に届ける。）。しばらくすると突然ガスが切れ出し、大雪山系の山々が現れ出した。急いでシャッターを押す。瞬く間にまたガスに覆われる。一昨日まで歩いた黒岳～トムラウシ～十勝岳の稜線を確認できなかった。45 分ほど粘ったが変化なさそうなので残念ながら下山することにする。

姿見池までは一気に下る。姿見池から観光コースをゆっくり下りながら、蒸気の噴気孔を間近で観測したし、お花畑を見たり、夫婦池を観光しながらロープウェイ姿見駅に到着する。ロープウェイの下の駅売店でお土産の買い物やコーヒーなどを飲みながら路線バスの時間を待つ。予定通りにバスに乗り込み、旭川に向かった。

旭岳ロープウェイ

姿見池

旭岳頂上